



加治丘陵だより

令和3年5月18日

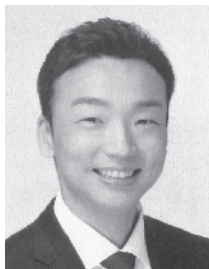
第34号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

E-mail admin@npo-kajikyuryo.net URL http://www.npo-kajikyuryo.net

市長ご挨拶

市長 杉島 理一郎



NPO法人加治丘陵山林管理グループの会員の皆様方におかれましては、日頃より、市政並びに加治丘陵の保全・活用に關し、多大なるご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

加治丘陵は、都心から約40km圏にある豊かな自然が残る里山で、昔から地域の人々と共生してきたかけがえのない自然であり、人間市が誇る財産です。

加治丘陵には多くの市民の方々が散策に訪れていますが、最近では、新型コロナウイルス感染症の影響により、人混みを避け、開放的で自然に親しめる空間を求めて、都内などから多くの方々が訪れるようになりました。

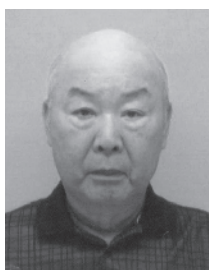
一方、二酸化炭素などの温室効果ガス増加を要因とする地球温暖化の進行により、近年、世界規模で自然災害が増加していますが、森林は二酸化炭素を吸収していることから、加治丘陵の森林も地球温暖化防止に寄与しているものと考えております。

この加治丘陵を誰もが自然とふれあい・親しめる場や子どもたちが自然の中でさまざまな活動ができる場としていくこと、また、この自然を未来の子どもたちに継承していくことは行政の務めだと考えております。しかしながら、加治丘陵の豊かで多様な自然を適切に保全・活用していくためには、行政だけではなく住民組織や市民団体の皆様方のご理解、ご協力が必要不可欠であり、その中心的な役割を果たしていただいている貴法人の活動が益々活発になることをご期待申し上げます。

結びに、会員の皆様方のご多幸とご活躍を祈念しご挨拶とさせていただきます。

令和3年度のスタートにあたり

理事長 菱川 浩次



昨年度は、コロナ対応で皆様とのコミュニケーションが充分ではなかったと思いますが、作業は無事終了した事を報告し、感謝申し上げます。また歴代市長、現市長をはじめ行政の皆様、会員の皆様等々多くの方々に御支援を頂きました事を厚く感謝申し上げます。

特に、花見の丘に16種、145本の新しい苗木が入間市により植樹され、今後の成長と開花が楽しみなところです。そして、今年度は引続き桜山展望台周辺の整備が進む事になると思います。

そして、今年度より定款の定めるところの森林活用事業、具体的には、間伐材を利用した社会貢献が出来る行動に移したいと考えております。

また、来年は創立20周年を迎え、より一層加治丘陵を自然豊かな魅力ある里山にするべく行動をしてまいります。

新市長をはじめ行政の御指導をよろしくお願いすると共に、我々は、お互いの意思疎通を図り、事故の無い様今後も全力で取組んでまいります。また、コロナの不安が続きますが、一人一人が充分注意をして毎日の健康に心掛けていきます。

本年度も引続き皆様の御支援をよろしくお願い申し上げます。



苗木植樹後の花見の丘

1. 作業実績

当期の作業実績は次のとおり。

下草刈：33,498㎡ 樹木伐採：67本
伐採木運搬：1,006本 皮むき：61本
丸太土留：9m 落葉掃き：1,250㎡
丸太階段修理：204段 ロープ柵作製：9m
掲示板作製 1基

【特筆すべき作業内容】

コナラが枯れる「ナラ枯れ」の被害発生が加治丘陵でも見られたため、1月中旬～2月にかけて被害を受けたコナラ3本の被害防除（伐採、燻蒸処理）を実施

「ナラ枯れ」は、高齢化・大径木化したブナ科コナラ属の木にカシノナガキクイムシが侵入し、原因となるナラ菌を感染させて木を枯らしてしまう現象



伐採作業



ナラ枯れ燻蒸処理

2. 実施行事

(1) 加治丘陵案内活動

農村環境改善センターが主催した一般市民を対象とした「加治丘陵里山探訪」は、11月26日に開催されました。参加者は、60代、70代を中心に男女合わせて12名でした。グループからはコースの案内係として菱川理事長の他2名が参加しました。行程は、同センターを発着とし、南コースから武蔵野音大を経て帰路は北コースという高低差のある約3時間でしたが、全員が完歩しました。天気にも恵まれモミジ、イチョウ、ウルシなどの紅葉は鮮やかで加治丘陵の魅力を感じさせる半日でした。コースの途中、菱川理事長より「花見の丘」、「山仕事の広場」、「生きものふれあい広場」、「自然探勝路」、「四季の森休憩園地」、「ふれあいの森」などグループが入間市からの委託を受け整備を行った現場についての説明をし、グループの活動を参加者に知ってもらうことも出来ました。参加者へのアンケート調査には「思ったより大変でしたが、楽しかった」、「とても清々しい気持ちになりました」、「もう一度歩いてみたい、春に」などの感想がありました。

グループでは昨年より地域連携協力班を新たに設置し、他機関との連携、また、住民の方々とのより密接な関係を構築することを目指しています。その意味でも、今回のような経験を重ね、将来的にはグループが独自に加治丘陵の魅力とグループの活動を市民の方々に知ってもらう、また参加してもらえるようなプログラムを企画したいと考えています。

(2) 「木工品作製サークル」スタート

加治丘陵からの恵みである伐採材の有効活用による社会貢献を今まで以上に実施すること、また、木工品作製活動が続けることによる会員の健康年齢を引き上げること等を目的とした無償ボランティア活動「木工品作製サークル」をスタートしました。

まずは、今年の入間万燈まつりまでを試行期間と位置付けて、有志で作製活動を行い、種々課題の発見とその対策の検討を積み重ねて行き、さらに会員の皆様に参加していただけるサークルを目指していると考えております。

(3) 健康ハイキング会開催

作業に参加している会員の体力づくりの目的で、毎月1回月末ごろに開催することでスタートしました。基本的には、午前中3時間程度のハイキングを行い、終了後昼食を希望者で取り、次回の予定コースを決めてから解散するスケジュールになります。

《第1回 9月30日実施 17名参加》

高麗駅～日和田山～高指山分岐～物見山～関ノ入林道
～武蔵横手駅～飯能駅

《第2回 10月28日実施 13名参加》

飯能駅～天覧山～多峯主山～奥武蔵自然歩道～高麗峠～飯能駅

《第3回 11月27日実施 14名参加》

東吾野駅～福德寺～山上集落ユガテ～武蔵横手駅～飯能駅

※12月から3月は新型コロナによる外出自粛関係で中止となりました。



健康ハイキング会

令和3年度上半期活動予定

副理事長 大垣 敏夫

1. 作業予定

上半期の作業予定は次のとおり。

下草刈：96,606㎡ 樹木伐採：20本 皮むき：120本

2. 木工品作製サークル予定

試行期間であり、人間万燈まつりで販売する作品の作製をととして、今後に向けて課題の発見とその対策の検討を積み重ねて行く予定です。

3. 行事予定

- ・4月19日(月) 入間市都市計画課との意見交換会（イルミン）
- ・4月21日(水) 安全研修（さとやま管理事務所）
- ・6月20日(日) 第19回通常総会（昨年同様書面表決型総会で実施予定）
- ・実施日未定 森林視察研修（コロナの影響による開催の可否も含めて検討中）

4. 健康ハイキング会予定

可能な限り毎月下旬に開催予定。
毎回開催時に、次回の予定を決定
します。

会員情報

会員の動向

【令和3年3月末の会員数】

正会員：125名

賛助会員：11社

【令和2年下半年新入会員】

会員No.513 原島 博亮

会員No.514 古仲 リカ

会員No.515 吉川 修

— 新入会員をご紹介下さい —

お知り合いの方で、我々の活動にご興味をお持ちの方はいらっしませんか。

連絡先E-mail：

admin@npk-kajikyuryo.net

【 ご存知ですか 】

『グループマーク』の誕生



加治丘陵山林管理グループ

このマークは、NPO法人加治丘陵山林管理グループ発足時(平成14年)、当グループの本質を表現できるシンボルマークが必要ということで会員番号No.70の鶴田英雄氏がデザインされました。

現在も、作業服、ヘルメット、広報紙等に活用されています。鶴田氏によれば、市民の里山加治丘陵を我々の力でしっかりと次世代へバトンタッチできるように維持管理していくことを主テーマにデザインされたとのこと。

- (1) 緑の山を会員の手で支える。
- (2) 山はこんもりとした木々で覆われ、しっかりと維持管理されている「山」を表現
- (3) 山を支える会員の手は、太くてたくましい木の幹で表現され、いつまでも愛情豊かにしっかりと加治丘陵を支えていく会員の決意を示しています。

会員全員がこのマークの願いを十分理解し、加治丘陵の環境を次世代へしっかりとバトンタッチしましょう。

新会員紹介 ～グループ活動に参加して～



会員No.499 奥園 幸典

私は、福岡県出身で会社の勤務地として入間市に移り住み定年を迎えました。会社勤めを終え一年を過ごし、40年近くも入間市民として暮らしてきたのですが、地域の環境など全く知らず、友人や知人は会社関係者ばかりと気づいたのは、会社を離れてからで、そろそろ何か地域に貢献する事がしたいと思い始めました。

グループを知ったのは、地域の熟年万歳に掲載された記事を読んだ事です。入間市の唯一のみどりの里山、「加治丘陵の自然環境を守り、また子供たちの健全育成を図る」を目標にしたグループが結成されて、2003年にNPO法人として埼玉県知事の認証を受けその活動内容が紹介されていました。

入間市と協働で、遊歩道の北・南コースをつなぐ“自然探勝路”を完成させて、茶畑を一望出来る所に“花見の丘”を5ヶ年計画で取り組んでいる事を知りました。私の実家も里山の麓にあり、少年期を自然の中で過ごした思い出が甦りました。その地は、市内を一望できる公園として学校行事の遠足などで賑わいがあり、その後ゴルフ場や宿泊施設など開発がされていきました。

開発が人々の暮らしを豊かにする事には賛同しますが、一方、自然の保護では、その目的と方法の検討が重要だと思います。

50歳半ばから始めた登山を趣味として続けていますが、登山者の安全を守るため危険な個所や道迷い防止策などの整備に感謝しています。自然の中で汗をかき展望地でのランチは最高です。

近年、未曾有の災害で人々の生活が一変する事が増えております。

入間市の宝である自然環境の緑地帯を守り、多くの人たちが訪れる場所作りは、その地域住人の一人として役に立つ働きをしたいと思い「万里一空」に精進して明るく・楽しく・元気よくをモットーに「グループの皆さんと安全と健康を第一」に、日々の活動が続けて行きたいと考えております。

賛助会員紹介（登録順）

会員名：司産業株式会社 ～社会のニーズに適した都市づくり～

代表者：代表取締役 忽滑谷 明

所在地：入間市野田936

連絡先：04-2932-3111（電話） 04-2932-5143（FAX）

ホームページ：<https://tsukasa-sangyo.com/>

【弊社紹介】

昭和35年、入間市の地に建設業を創業して以来、すべての皆様に「感謝」また「奉仕」という気持ちを大切にしながら接し、着実に実績を積み重ね、お陰様を持ちまして県内有数の総合建設会社として成長して参りました。これもひとえに皆様方のご支援ご愛顧の賜物と、役員従業員一同感謝いたしております。これからも私たちを取り巻く環境の変化に対応しながら、人と都市、自然との調和を考え、社会のニーズ、お客様のご要望にお応え出来ますよう、より一層の努力を続けてまいります。

【当グループへの一言】

貴グループによる長年にわたる日々の地道な活動が現在の素晴らしい加治丘陵となりました。市民の一人として大変嬉しく思い会員の皆様に感謝申し上げます。貴グループのご発展をお祈りし、微力ですが引き続きご支援ご協力をさせていただきます。

～編集後記～ 今期も新型コロナウイルス感染予防から、会員の皆様が懇親できる入間万燈まつり、忘年会、ゴルフ大会等が中止になってしまいましたが、加治丘陵整備活動の方は計画どおり達成でき市民の皆様のお役にたてたのではないのでしょうか。本紙の方は、入間市長はじめ多くの方々よりご寄稿をいただき、紙面を埋めることができました。ご協力感謝申し上げます。（編集委員長 埴生信一）

発行責任者：菱川 浩次 〒358-0053入間市大字仏子1397-3 ☎04-2932-4515